

ぐきょうし 弘教寺

つづじがだより



開山百五十年を迎えて

弘教寺住職 中山英昭

NHKドラマ「龍馬伝」で注目を浴びている坂本龍馬が活躍していた幕末に私どもの弘教寺は産声をあげました。安政七年(一八六〇年)のことです。寺の古い資料を見ますと、安政二、三年頃より寺開設の準備は進められていたようですが、ご本尊をお迎えした時の箱ぶたに記載されている安政七年を開山の年と考えております。

さらに箱ぶたには、「上州國新田郡境町高岡 西岡寺」と記されてあります。明治三十一年の寺院明細帳には、寺号公称は明治五年とあり、町の詳細を記した福島家文書には、明治三年の古地図に弘教寺と印されていることから、明治に入つて弘教寺と名のつたことが推定されます。

群馬県内の真宗寺院の門徒の皆さんの出身地をみますと、古い時代では、新潟を中心に北陸出身の方が圧倒的に多いようです。我が寺でも同様です。

境地域は、江戸時代より戦後に至るまで、養蚕、生糸の生産、伊勢崎銘仙の機織りなどで盛えた場所であります。また、利根川の豊



第15号

発行所

T37010131
伊勢崎市境米岡二七九一二
浄土真宗本願寺派弘教寺
寺報編集部
電話0270(七四)0573

富な水量は、この町を水運の要所として発展させてきました。労働力、商いの関係上、新潟を中心とする北陸の門徒の方々も来町し、定住することとなります。

本尊箱ぶたには、「築地御坊出張所」との記載があります。真宗門徒の増加により、故郷を離れた人々の心の依り拠(どころ)として、布教所開設の要望が築地本願寺などにあがったものと思われま

初代の住職は、富山県大沢野町(旧大久保村)回向寺(えこうじ)出身の赤尾梵震師です。回向寺の先祖は、十七代前に、蓮如上人の時代に五箇山西赤尾の地より移り、回向寺を開いたと聞いております。

今年開山百五十年を迎えるにあたり、二つの行事を実施したいと考えています。

一つは、例年の永代経法要を六月に移し、四月二十九日に「弘教寺フェスタ」のイベントを実施致します。子ども達も大人の方々も、弘教寺に集い、楽しく一日を過ごしていただく企画です。午前中は、子どものつどいのイベントとして、前半は、遊びの達人の先生をお呼びし、体をつかって楽しんでいただきます。後半は、マジックショーで、三人のマジシャンが来てくれることになっております。

午後は、一時より境内で、抹茶の接待をし、二時から、浪曲師 澤孝子先生をお招きし、浪曲を楽しんでいただく予定です。

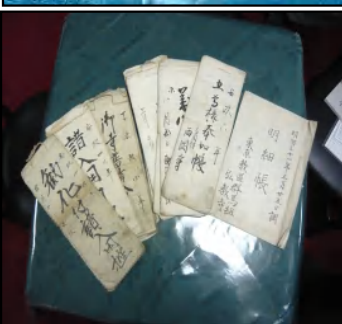
もう一つの記念行事は、十二月五日に、例年の報恩講法要に代えて、開山百五十年記念法要をお勤めし、弘教寺に関わつた多くの先人の遺徳を偲ぶ法要にしたいと考えてます。

なお、当日は、親鸞聖人七百五十回大遠忌のお待ち受け法要も併せて勤めてまいりたいと思っております。

先日、寺が百五十年を迎える話をしておりましたら、次男の真悟が、「お父さんが、子どもの頃には、江戸時代生まれの人がいた？」と聞かれました。五、六十年前であれば、九十歳以上の方ならば、幕末生まれの方が生存していたはずであります。そう考えますと、それほど遠い時代ではないことに気づかされました。

ともあれ、四月の弘教寺フェスタ、十二月の開山百五十年記念法要の記念行事に、多くの皆様のご参加、ご参拝を念願しております。

称名



お寺deコンサートに対する想い

チェリスト 瀬越 憲 先生

弘教寺住職と知り合ったのは、確か今から十五年ほど前、まだ前橋に住んでいた頃のことでした。父が亡くなり、知人の紹介で法要を営んでいただいたことがきっかけとなりました。

その後、住職から思いがけないお誘いを賜り、弘教寺における初のコンサートをさせていただくことになりました。

わすれもしません。その時は本堂にレンタルのグラランドピアノを搬入して行ったのです。

まさかそこまでやって下さるとは思わなかった。正直とても驚きました。あたかも夢のような展開となりました。そして、その時私は、真なるものに対し真つ向から立ち向かわれる住職の心のあり方を垣間見た気がしました。

東洋と西洋の宗教・・・大きく分けて仏教とキリスト教・・・両者はおのずから異なる信仰を構築し、それぞれ独自の文化を生み出しました。そして長い年月を経過しながらその伝統を大切に継承してきました。明らかに異なる歴史的文化が存在しているわけです。

民族がそれぞれに育んで来た伝統文化、また宗教に裏打ちされた真髓(注)というものは、やはりそれぞれが守って行くべきものだと思います。真髓を蔑(ないがし)ろにすれば、恐らく精神は滅びるに違いありません。

私たちは、引き続き欧米文化の良き部分を積極的に取り入れながらも、日本人としての心を磨き、誇りある生き方を表出して行くべきだと思います。

私は、若い頃からずっと西洋音楽一筋で生きてまいりました。でも決して日本人としての純なる心は失っていないつもりです。

ベルリン滞在中、あるホーム・コンサートでドイツ人から言われたことがあります。

「日本人の多くは、ここへわざわざ物真似をしにやって来る。でもあなたは日本人として独自の志向を西洋音楽に表現しようとしている。」と・・・もしかすると外国人の方が、私のことを理解してくれているのかも・・・。

『お寺deコンサート』は、住職の心と私の心が合体した共同作業だと思っています。

もしや新しい未来が拓けるような、そんな気がしてならないのです。

◆(注)真髓

ものごとの真の本質



坊守さんも木魚の演奏で参加した、昨年十二月のコンサート風景

平成21年度 子育てを支える「家族・地域のきずな」に関する作品コンクール(内閣府主催)

「声かけて 地域に育つ 笑顔の子」中山 真悟

夏休みの宿題で提出した標語がなんと、全国作品コンクールで最優秀賞となり、大臣表彰を受けてしまいました。

真悟は、よく学校の行き帰りの畑や道で、出会う人達と気軽に挨拶を交わしおしゃべりをして笑顔をいただいています。地域のスポーツ少年団の活動でもいろいろな方々にお世話になっていきます。ましてやお寺に育ち、お念仏を喜ぶ仏壮・仏婦の方々に囲まれ、声を掛けられ手をかけられて育ってきました。

人との関わりを喜び、人の笑顔を見るのが大好きな真悟に成長しました。多くの方々に見守られ支えられてきて、その中で生まれた今回の受賞です。

皆様のお陰と深く感謝いたします。ありがとうございました。(坊守)



平成21年11月15日

福島内閣府 特命担当大臣 から受賞 福井市 「ユ一・アイ福井」 にて

第30回 東京教区仏教壮年会連盟
結成記念日研修会に参加して

二月二十・二十一日、石和温泉にて教区仏
壯一泊研修会が二百七十二名の参加で開催さ
れました。弘教寺からは九名の参加でした。

この研修会には「ご聴聞をいただき、自分
の歩む道を学ぶこと」と云うテーマに賛同し
て、第二十二回から継続で参加させて貰って
おります。

「後生の一大事」をテーマに映画「おくり
びと」の源である「納棺夫日記」を書かれた
青木新門先生の講演でした。ユーモアを交え
た「おくりびと」との関わる秘話、八歳の時
満州で終戦となり弟・妹との死別から郷里の
富山での納棺夫として働くご自身の歩み、こ
れらを通じての仏教の教えを話されました。
それは、観念での教えでなく、現実を真摯に
直視した内容であり心を打たれました。更に
感動させられたのは一枚の写真です。終戦直
後に長崎に上陸した米国の写真家が撮った、
「原爆で死亡した弟を背負い仮の火葬場に直
立不動で立つ少年の姿です」戦争の悲惨さよ
り人の死があらのままに訴えられております。



青木新門HPより抜粋

テーマの「後生の一大事は」私の生死を見
詰めることで、お
のずと後生が決ま
ることに気づかさ
れました。
(橋本マ)

ビハール活動・ユカレリ報告

ビハール活動をきっかけに始まったユカレ
リの施設慰問は九年目を迎えます。
ラポール伊勢崎への訪問は今度で三回目
になります。

ご住職のお話、坊守さまの紙芝居、そして
ユカレリのフラダンスでは、日頃の練習の成
果を発表し、皆さんに楽しんで頂きました。
にこやかに踊れると良いのですが、とびつ
きりの笑顔がでるのは踊りを間違えた時かな？
孫にも衣裳ではないけれど、今回は築地別院
へ参拝した帰途、浅草へ寄って詠(あつら)
えた真つ赤なムームーでの発表でした。皆さ
ん一段と若々しくきれいで・・・、入所の皆
様に少しは楽しんで頂けたかなと自己満足し
ています。でも、一番楽しんだのは私達フラ



ユカレリの皆さん

ガルだった
かもね？
皆さんに
喜んでいた
だけの踊り
が出来る様
これからも
皆で頑張り
たいと思っ
ます。
(佐藤シ)

仏教の豆知識(7)

お待ち受け法要とは

最近浄土真宗の新聞・雑誌などで「お待ち
受け法要」という言葉が見受けられますが、
これはどのような法要でしょうか？

「待ち受ける」とは来るものを予想して準備
して待つ、迎え待つの意味です。そこで、
「お待ち受け法要」とは来たる二〇一一(平
成二十三)年に親鸞聖人七百五十回大遠忌法
要が、ご本山の西本願寺でお勤まりになりま
す。これは五十年に一度の大きな法要です。

この大遠忌法要に先駆けて親鸞聖人を宗祖
と仰ぐ私たち門信徒の一人ひとりがその大遠
忌法要をお勤めする意義を確かめる機縁とな
るように、全国の別院及び一般寺院などにお
いて営なませていただく法要のことです。
吉田(釈願船)

ダーナ活動

ダーナとは、仏教語で「布施」(施
し)ほどこしのことで、仏道を歩む者の日
常の実践として説かれています。

仏教婦人会では、毎年二月の第二日曜日を
「ダーナの日」と定め、ダーナ献金を実施し
ております。皆様からの献金は総連盟事務局
に届けられ、ユニセフ、福祉事業援助、教育・
環境保護、災害見舞金などに分けられ配布さ
れています。「させていただいてありがとう」
の気持ちを忘れないよう勤めましょう。
瀬古(釈安徳)

二十一年度六回のつどいを終えて

作って遊んだのは、篠竹でつぼう、紙ひこ
うき、こま、エイ凧、割り箸でつぼう。
作って食べたのは、水あめ、白玉だんご、
お餅、お絵かきせんべい。

夏の遊びの広場では、どじょうつかみや、
びつくりシヤボン玉、スイカ割りもしました。
毎回二十数名の子供達と保護者、スタッフが
一緒になって楽しみました。

思うように作れなかったり、うまく飛ばな
かったりすると、そこにやり取りが生まれ知
恵が働きます。工夫してうまくいくと笑顔と
喜びがあふれます。

作って食べるおいしさの中に経験者の技が
伝えられ思いやりが育まれます。スタッフと
の触れ合いも温かい命の交流として、子供た
ちの宝箱に納



められたこと
でしょう。

会員二十九
名中、皆勤賞
三名、精勤賞
三名、でした。
二十二年度も
歓声に沸くつ
どいを進めて
まいります。
(坊守)

この人 岡田 弘さん 前橋市

前橋市小屋原町で蘭園を経営している岡田弘
さんを取材いたしました。ご両親が境町駅前通
りで飲食店を経営、そこで生まれ、弘教寺の現
住職の亡きお兄さんとは同級生で子供の頃は寺
の庭でよく遊んだそう。

その後、尾島町出稼に移り、お父さんと共に
蘭園を経営。お父さんの死後、現在の前橋に店
舗と農園を移し、栽培販売をはじめた。

研究熱心な岡田さんは、「原種カトレア全書」、
「洋ランづくりのコツのコツ」など、著作も八
冊にのぼる。今回出版した「カトレア【青い鳥】
のゆくえ洋ランミステリー」は、蘭愛好家の主
婦が、東京ドームで催される「世界らん展」で
殺人事件に巻き込まれるという小説です。蘭に
知識のない刑事が、事件の解決と共に蘭栽培の
ことに深く関わっていくと云う、ユニークな構
成で話題を呼び、本年一月八日付けの朝日新聞
にも紹介された。

岡田さんは、大変温厚なお人柄で、子供が二
人、孫にも恵まれ。「寺にはお盆とか法事しか
お参りしていないが、つつじ寺だよりで皆さん
のご活躍は承知していて、その内にと考えてい
る。」と話しておられ
(玉田夕)

岡田弘氏略歴

岡田蘭園代表取締役
日本洋蘭農業協同組
合理事・審査員



行事予定 (平成22年 4月~平成22年 7月)

月別	弘教寺の行事予定		教区・群馬組の行事予定	
4月	14日	壮年会役員会	17日	教区仏壮理事会
	16日	婦人会役員会		26日
	20日	婦人会例会		
	29日	弘教寺フェスタ・子供の集い		
5月				
	18日	婦人会総会	27日	仏婦連盟総会
	23日	壮年会総会	30日	仏壮連盟総会
6月	5日~6日	永代経法要・成勝寺交流会		
	12日	子供の集い	15日	組仏婦連盟総会・研修会
	18日	婦人会例会		
7月				
	4日	壮年会例会		
	16日	婦人会例会	20日	若宮苑孟蘭盆会(群馬組)

※ 編集後記 ※

桜四月は、新入社員・新入生・進学・
など新たな息吹を感じるの私だけでしょ
うか？ 日々新たな命をいただき、弘教寺
の開山百五十年記念行事、さらに親鸞聖人
七百五十回大遠忌法要にもご縁をいただ
けるのは有難いことです。世相での思いもし
ない事件を日々新聞で見ますが、この「寺
だより」で心を癒して、「真実の心」の糧
にさせていただければ幸いです。
(橋本マ)